

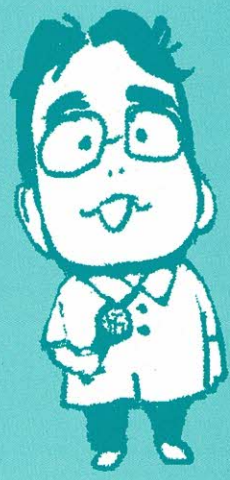
講演会

# 藤原辰史

■プロフィール  
 ふじはら・たつし  
 1976(昭和51)年北海道生まれ、島根県で育つ。99年京都大学総合人間学部卒業。2002年京都大学人間・環境学研究所科中途退学。京都大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師を経て、13年4月より、京都大学人文科学研究所准教授。専攻・農業史。  
 著書『ナチス・ドイツの有機農業―「自然との共生」が生んだ「民族の絶滅」』(日本ドイツ学会奨励賞)、『カブラの冬―第一次世界大戦期ドイツの飢饉と民衆』、『ナチスのキッチン「食べること」の環境史』(河合隼雄学芸賞受賞)、『稲の大東亜共栄圏―帝国日本の〈緑の革命〉』、『食べることを考えること』、『戦争と農業』、『トラクターの世界史―人類の歴史を変えた「鉄の馬」たち』

生産中心主義という現代社会の不自然さを生態学の生産、消費、分解という概念を軸に解き明かしていきます。  
 来るべき世界のカタチとは？

なんだろ？



これまで食と社会情勢とのふか〜い関係を研究してきました。

ギャップが  
いっばい  
です。



# 食考

「生産」から「分解」へ

# 食べること、 えること

2018年 8月18日 [土]

- 料金 500円 (高校生以下無料)
- 開場 12:30 開演 13:00~15:00
- 問い合わせ (0820)72-2601
- 住所 742-2301 山口県 周防大島町 久賀 1102-1

八幡生涯学習のむら内「語らいの間」

※ 本講演はチケット制ではありません。当日、先着順でのご入場となります。同日9:00より開催の「島のあさマルシェ」にて講演会の整理券を配布いたしますので、お早めのご来場をおすすめ致します。なお、満員となった場合、入場できないこともございます。予めご了承ください。